

5

2025 復興防災学習プログラム

復興防災学習プログラム運営チーム 理事長 石堂淳、高等教育推進センター 江村健介、総合政策学部 杉安和也、桑原尚子、伊藤徳子、盛岡短期大学部 千葉啓子、吉原秋、Hamish Smith

該当する
原則

原則 9：持続可能性を推進する

1. 活動の目的・背景

(1) 飲料水ペットボトル配布活動（水ボラ）

飲料水ペットボトル配布活動（通称「水ボラ」）は、2011年3月に発災した東日本大震災津波被害に対する支援物資として岩手県に寄せられた飲料水のペットボトルを、自身も出張中に津波に遭遇した岩手県立大学盛岡短期大学の教員が、岩手県立大学の学生・教職員と一緒に、被災者が居住する仮設住宅等に手渡しで届けたことから始まった。

ライフラインが復旧し、支援物資の提供が終了した後も、公益財団法人本庄国際奨学財団からの寄付金や(株)伊藤園からの飲料水の提供などの支援を受けながら、「仮設住宅等への転居を余儀なくされた地域住民に対し、世帯ごとに飲料水を配布することで会話のきっかけとし、『声かけ』『見守り』を行うとともに、新たな地域コミュニティ形成の一助とする」ことを趣旨として活動が続けられた。

(2) 学生交流への拡大

一方、オハイオ大学（アメリカ合衆国オハイオ州アセンズ市）からは、2011年の震災発生直後に合同ボランティア活動の申し出を頂き、中部大学（愛知県春日井市）に留学中のオハイオ大学の学生や教職員と本学の学生・教職員が毎年度一緒に、宮古市や山田町等において活動を行っていた。

2013年、この合同ボランティア活動に「水ボラ」を取り入れたことにより、参加者の範囲を拡大した「拡大水ボラ」と呼ばれるようになった。中部大学とオハイオ大学は既に約50年前から交流が行われていたところ、2016年には岩手県立大学からオハイオ大学への学生派遣制度が創設されたことを契機に、3大学の学生交流が可能となった。また、2018年からは、これら3大学に加え、本庄国際奨学財団の奨学生である全国各地の外国人大学生等も参加するようになり、4団体による活動となった。

2. 復興防災学習プログラムとしての活動

2022年からは、サービslラーニングを中心とした防災学習「復興防災学習プログラム」に位置付けを進化させ、Covid-19の蔓延による2年間の休止を経て3年ぶりに活動を復活させた。

2025年の復興防災学習プログラムは、8月8日から10日までの3日間、岩手県立野外活動センターを拠点に、オハイオ大学、本庄国際奨学財団及び岩手県立大学から96名が参加し、被災住民との交流や支援活動を行った(写真1)。



写真1 県営柕ヶ沢アパート集会所で記念撮影

(1) 参加者の内訳

所属団体	学生	教職員等	計
オハイオ大学	14	2	16
公益財団法人 本庄国際奨学財団	26	4	30
岩手県立大学	37	13	50
計	77	19	96

(2) プログラムの概要

①事前学習・交流会 【岩手県立野外活動センター】

初日は、参加3団体の代表者からの挨拶に続き、東日本大震災津波を契機とした飲料水配布活動（水ボラ）と、これまでの交流の経緯等について説明が行われた後、アイスブレイキング（写真2）により参加者相互の交流を図った。



写真2 アイスブレイキングの様子

②東日本大震災津波遺構等見学【高田松原津波復興祈念公園】

2日目は、高田松原津波復興祈念公園において、3班に分かれて現地ガイドの解説を頂きながら東日本大震災津波伝承館、防潮堤（海を臨む場）、奇跡の一本松及び旧気仙中学校（写真3）を見学した。

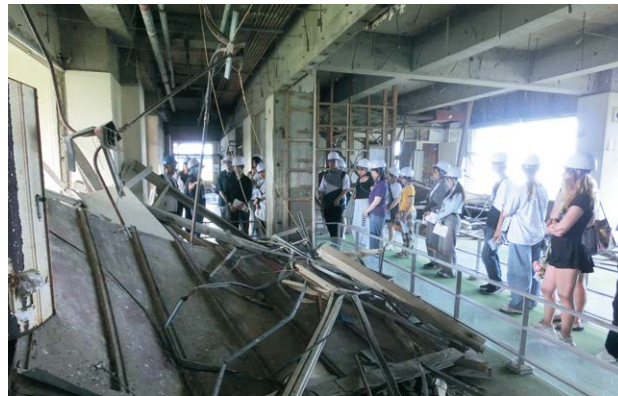


写真3 旧気仙中学校の見学の様子

③住民との交流プログラム【県営柕ヶ沢アパート】

2日目午後は、県営柕ヶ沢アパートを訪問し（写真4）、(株)伊藤園から提供頂いた飲料水のペットボトルを全世帯に配布しながら声掛け活動（水ボラ）を行うとともに、本庄国際奨学財団提供の落語会を住民の皆さんと一緒に鑑賞した。



写真4 柕ヶ沢アパートでの水ボラ活動の様子

④交流会 キャンプファイヤー【岩手県立野外活動センター】

2日目の夜はキャンプファイヤーを囲んだ交流会（写真5）を実施した。外国人留学生による点火式の後、ジェンカ（フィンランドのフォークダンス）を皮切りに外国人留学生の母国など世界各国の歌と踊りが披露され、参加者全員で盛り上がった。地元の岩手県立大学からは、「盛岡さんさ踊り」が紹介された。



写真5 キャンプファイヤー（盛岡さんさ踊り）の様子

⑤大船渡市大規模林野火災被災住民との交流【大船渡市赤崎町地内】

3日目は、2025年2月に発災した大船渡市大規模林野火災により被害を受けた大船渡市赤崎町外口地区の住家と、旧蛸の浦小学校仮設住宅を訪問して飲料水配布活動（水ボラ）を行い、今年度のプログラムを締めくくった（写真6）。



写真6 大船渡市での水ボラ活動の様子